

広報 なかつえ

昭和62年 1月号 / 大分県日田郡中津江村 / No.265



あがるい明日を!!

うんうん!

87 / 1

No.265



村花「しゃくなげ」

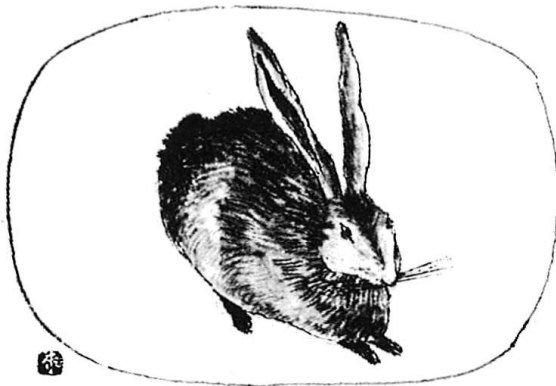
《村民憲章》

わたしたちは、中津江村民であることに誇りを持ち、みんなで力を合わせて、明るく豊かな村をつくるためこの憲章を定めます。

1. 礼儀正しく、思いやりのある村民になります。
2. 自然を愛し、美しい環境をつくります。
3. 健康で、楽しい家庭をつくります。
4. 資源を生かし、生産にはげみます。
5. 伝統と文化を愛し、教養をたかめます。

謹賀新年

昭和六十二年元旦



縁

ウサギは身近な動物で、いまでも野生のウサギをよく見かけますし、食肉用、毛用、毛皮用、ペットなどとして広く飼われています。また、昔からあるいろいろな物語にもウサギがよく登場しています。イソップ童話の「ウサギとカメ」や、日本の昔話の「かちかち山」「因幡の白ウサギ」などが有名です。

今年 は 卯年

さてみなさんは、これらの物語に登場するウサギについてどんなイメージをお持ちでしょうか。

ウサギとカメのウサギは、油断して昼寝をしてしまうので、自信家か、それともなまけ者。「かちかち山」はおじいさんのために敵うちをするので正義の味方になっていきます。しかし、それにしてもタヌキをだまして背中にやけどを負わせたり、その傷に唐辛子を塗ったり、泥船に乗せたり……、ちよつと残酷すぎるようです。「因幡の白ウサギ」は知恵を働かしてワニザメをまんまとだましたつもりが、皮をむかれて赤裸になつてしまいます。こうして見ると、ウサギに対するイメージはいろいろのようです。

砂漠、草原、森林、高地、ツンドラなどあらゆる所に住むことができ、糞を食べて反すう（一度飲み込んだものを再び食べること）の代わりにする習性があります。

また事典にはウサギの飼育は容易で、飼育箱は幅・奥行六十センチ、高さ四十五センチあればいいという意味のことがてていました。なるほど、これが例のウサギ小屋の由来かとうなずいた次第です。

ウサギ年の今年、国連の定めた国際居住年に当たります。貿易摩擦解消のためにも内需を拡大してもつと住宅を作り、みんながゆつたりとした家に住めるようにしたいものです。

農林業の振興で 村づくりを

～地方試練の時代、受難の時代を 乗り越えて～



村長 齊藤 隆一

昭和六二年の新春を迎え
謹んで新年のお喜びを申し
あげます。
輝かしい新年を迎えてと
申しあげたいのですが、本
年は全般の諸情勢を総合し
てみると国の内外に種々の
問題をかかえ、特に地方自
治体にとってきわめて厳し

い試練の年になりそうです。
地方の時代は地方経営の
時代といわれますが、さら
に深く分析してみると正に
地方試練の時代、あるいは
受難の時代を迎えることに
なると思います。
昨年はGF会議の後円高
の影響をまともに受けて輸

出産業及び第一次産業の低
滞が著しく、内需指向を中
心にした産業構造の変革を
根本的に強いられつつあり
ます。また教育臨調、国鉄
改革、税制改革、地方行政
改革など進展し、経済不況
はますますその度を加えつ
つあります。

本村の主要産業である林
業も深刻な不況に突入し、
危機突破が果してできるの
か憂慮されるどころです。
しかし、本村の基本産業は
農林業であり、これを主体
とした村づくりが私に課せ
られた最大かつ最終的な命
題であることは論をまたな
いところでは

**複合経営で
農林業の振興を**

農林業の振興については
農道、林道、作業道等の基
盤整備を進めながら一村一
品運動に沿って、農業特産
物、特用林産物の開発を図
り、流通面での市場開拓と
ともに観光事業と連動させ
ながら住民の所得増大に結
びつけ、村づくりの基本と

したいと思えます。
特に、林業については長
伐期林業を目標にした経済
林としての木材の活用をは
かるとともに、間伐地の林
地利用による特用林産物の
生産拡大に努め、いわゆる
林地利用による農業を振興
し、農林複合経営による林
業体制を確立することが急
務であります。

**小面積で
高収入をめざす**

特産物については農協を
中心として市場出荷すると
ともに一・五次加工を盛ん
にして付加価値高め消費地
に直結しなければなりません。
また、前述したように
観光事業と連動し、直販体
制を確立することが緊要で
す。

これからの農業は米をは
じめとする農産物の輸入問
題等で圧迫が予想されます。
が、本村としては、適地適
作で少量多品目の特産品の
開発及び充実につとめ、小
面積で高収入の作物を生産
することが大切です。

**環境を整備し
生涯教育の振興を**

老人、婦人でできる軽労
働による農業等の見地に立
った生産体制、たとえばみ
ようがなどの栽培にみられ
る小面積施設農業、あるい
は水耕栽培等工夫すべきで
あると思えます。

道路交通網整備について
は一応体制が整いましたが、
さらに既存道路の改良とと
もに連絡道や作業道等の整
備もきめ細かく実施する必
要があります。

環境整備については、竜
門ダム分水工事の進行に伴
い栃原、川辺地区、また、
野田地区のダム周辺地域で
さらに検討を重ね、開発を
はかりたいと思えます。
なお、簡易水道について
は住民の合意により必要な
地域に計画したいと思いま
す。
教育については、川辺小
学校の改築をもって、教育
施設の整備が終了しましたが
今後さらに学校教育の充実
につとめ、また、特に社会

教育の振興に重点を置き、生涯教育の推進をはかり、人づくりに努力したいと思えます。

結びつけよう

観光と農林業

観光開発事業については村づくりの一手段としてとらえ、農林業特産品開発に連動させて、所得の増加に結びつけ、これを起爆剤として村の活性化をはかりたいと思えます。また、雇用の場の拡大、村財政収入確保、商工業の振興の面から、もまます充実させて、過疎対策の一環としてと考えています。したがって、家族旅行村事業の完成を急ぐとともに運動広場の造成につとめ、さらに来年度より山村地域資源高度活用促進モデル推進事業の導入を考えています。

円高ドル安に伴い産業全体が内需中心に体質改善、構造改善を迫られている今日、第三次産業の観光事業はまだまだ伸びる産業であると思えます。

最近、各自治体においても産業の振興をはかるとともに豊かな自然と特色ある資源や歴史を利用した観光事業に連動させて、村づくり町づくりを策する傾向が増加しています。

重要な

老人福祉対策

住民福祉についてはきめ細かい対応が必要ですが、今後ますます高令化社会に移行しつつある本村の状況からして老人福祉対策が極めて重要なことです。

国、県の施策に関連する面が大きい施策ですが、老人対策の三K、つまり、健康・生き甲斐・経済的自立を目標にして努力したいと思います。



時代を先取りして行政運営

以上村政の重要施策の一端について述べましたが、その他進行中の事業及び計画中の事業を積極的に推進し、総合的な事業の遂行により、村づくりにつとめたいと考えています。

現在、情報化、国際化、高令化、地方化、技術革新の波がひしひしと押し寄せてきています。自治体の長たる者すべからず先見性をもって、時代を先取りし、経営感覚を身につけ、独創性を発揮し工夫をこらして行政運営にあたる必要があります。

交流で活性化と村づくりを

さらにこれからの時代は交流の時代といわれています。すなわち、都市と農村との、また、老人と若者、日本と世界との交流など四全総計画にも交流を目的と

した諸施策等が記されています。都市の活力を農村に、農村のゆとりを都市にといわれ、各地域の資源、特産品を通じ、また、観光事業を介し、スポーツを媒介として交流し、農山村の活性化をはかりつつ、地域づくり、村づくりをする時代になりつつあります。

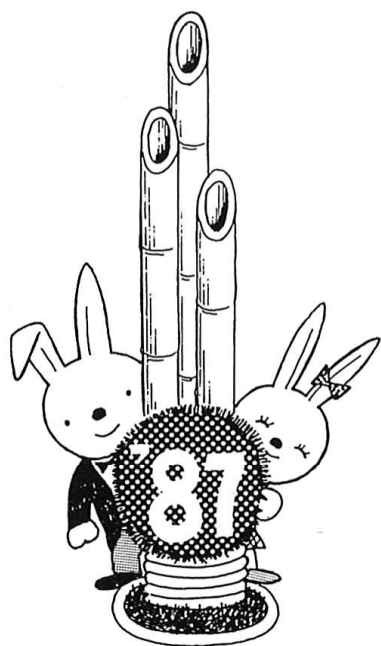
村づくりは人づくり

結論としていえることは本村は下笠ダム建設、鯛生金山閉鎖の後を受けて、マインナスをいかにプラスに転換するかに重点を置いて種々の事業を総合的に実施してきて、現時点でやっと村づくりの基礎条件が整ってきた状況であるといえます。

す。鯛生金山観光開発事業が起爆剤的役割を果し、若干ではあるものの活性化現象が見られるようになりました。

村づくりはこれからです。村づくりの基本になるのはあくまでも人づくりです。一村一品運動の本質は人づくり運動です。今後新体制の自治会活動を推進し、役場全職員を動員して、地域にとけ込み、特に青壮年、中堅婦人の方々のご協力をいただいで全村一丸となつて村づくりに邁進したいと思います。

新年を迎え、私も気分一新して、あらゆる困難を克服し、村政に全力投入する所存ですので、村民各位のご指導ご支援を心からお願ひしあいさつといたします。



村勢の発展と 住民生活の安定を 願って

あけまして

おめでと

ございます

新しい年の始めにあたり
六二年が平和で明るいよ
い年であることをみなさん
とともに祈念するもので
あります。

かえりみますと昨年は国



議長 鷹野 勉

の内外ともに激動の年であ
りました。国内においては
円高にあげ円高に暮れた経
済不況、衆参両院議員の同
時選挙、天皇在位六〇年記
念行事、国鉄の民営化、税
制改革、社会面では子ども
のいじめと青少年犯罪の増
加などのニュースにみるで

きごとはみなさんご案内の
とおりであります。

しあわせな日本

しあわせな私たち

また、国外におけるでき
ごととしては、テレビ、新聞
等の報道で見聞きしたとお
り、暗い事件が数多くあり
ました。世界のどこかで戦
争が絶えることなく、内戦、
クーデターなどの戦渦にま
きこまれた多数の民衆の悲
惨さや、飢餓と病傷で飢死
する数千人の被災者を見ると
き、わたしたちはそれに比
べて平和で美しい四季のあ
る治安と政情の安定した日
本に住んでいることは幸福
であるといえます。欲をい
えば限りありませんが、国
民の大半が中流を意識して
いるといわれる人並みの生
活を営むことのできること
はこの上もなく幸福であり
ます。

農業は平年作

しかし、林業は不況

村の昨年は、天候に恵ま
れ風水害の被害もなく、稲

作をはじめ農作物が平年並
に近い収穫を得ることがで
きたのではないかと思いま
す。ただ主要産業の林業が
長期にわたり不況であり、
需要の不振と価格の不況が
続き、好転するきざしさえ
みえない況の中中で林業
関係する方々が苦慮されて
いることは憂慮に堪えませ
ん。

また、林業につぐ所得の
高い特産のしいたけも気象
の関係で不作の上に円高に
よる輸出の不振で需要と価
格が下落したことは痛手だ
ったと思います。円高の影
響はここまで波及しており
ます。

健康でしあわせに！

議会も努力の責任

「健康で、幸せに無事に
暮りたい。」……………

これは、村民みな様方すべ
ての人たちの願望であると
思います。国をはじめ村の
行政はみな様方の願望をか
なえるために努力する義務
と責任があり、議会もその
一端を負う責任があると確
信しています。

山積みしている

諸問題

今年統一地方選挙の年
です。知事をはじめ市町村
長及び地方議会議員の選挙
が施行され、村においても
村長、議員の選挙が行われ
ます。

村政は基本産業である農
林業の振興をはじめ教育、
観光、道路の整備、福祉等
諸問題の施策が山積みして
おります。六二年度の事業
計画並びに予算は骨格予算
で編成され、選挙後に新し
い執行体制と新しい議会に
よって、本格的事業計画と
予算が編成されます。

現村議会議員の今期の任
期も残りわずかとなりまし
たが、任期中ご指導とご協
力に対し、深甚の謝意を表
するものであります。

私たち議員一同、これか
らも全力をあげ、村勢の発
展と住民生活の安定に努力
することを約して新年のご
あいさついたします。



新しい時代へ

◎今、学校は

- 川辺小学校の新校舎が関係者の努力によって完成しました。これからは魂を入れ内容の充実をはかりたいものです。この秋は、川辺小学校を会場として九州へき地教育研究大会が開催されます。ここでへき地教育

のよさを実証したいと先生方ははりきっています。

- 中学校は寮教育を中心として後継者育成をめざして情熱を燃やしています。
- 鯛生小学校も研究発表の成果をふまえ、個の教育を大事にしたいとねがいつづけています。



教育長 佐藤 誠一郎

- 丸蔵小学校は昨年の研究発表会で県下の先生方から絶賛され、生き生きとした光輝く子どもづくりにはりきっています。

◎これからの非行の動向

暴力(家庭内・学校器物破壊・対教師)事件が世間を騒がせた後、登校拒否、自閉症、いじめ等の内的で陰湿な非行が花ざかりとなつていきます。これが進んで性非行、マヤクに拡がっていくことが予想されます。

子どもらは、豊かさや甘えの中にどっぷりと浸つていて、いつまでも大人になりにたくないモラトリアム人間●ピーターパン症候群が急増しています。

本村の子どもたちは問題を起こすようなことはありませんが、これらの非行の種子はみな持つており、油断は許されません。常に配慮が必要です。

◎家庭、学校、地域に灯を

ある地区では、「あいさつを親から先にしよう」と話しあいました。親の姿勢が子どもを変え、地域を変えていきます。あいさつは

思いやりの土台づくりであり、あいさつひとつが世の中を変えます。さわやかなあいさつこそ宝です。

- 美化運動を自ら実践できる人はたくましい意志と継償の努力が必要です。(場を清める)

- おてつだいを自分できめて一年間やりつけましょう。おてつだいは、思いやりの心をつくり、親孝行の特効薬と申せます。

- 地区の集会所を活用して「私たちの地域は私たちの力で。」を合言葉として、話し合い、レクレーション、実践活動の場となるように努めましょう。まずは集まることにより何かが生まれます。地域こそ村おこしの土台であります。

◎この生き方に学ぼう

星野富弘さんは昭和二十一年生まれ、群馬大学卒業後中学の体育の先生として赴任、二ヶ月後、生徒に前方宙返りを教えてみせた時、誤って墜落、以後手足不自由となり九年間病院生活、不治のまま退院、肩から下は動かさない、背中と手足は車いすにはりついたまま

で筆を口にくわえて絵や詩を書くようになりました。「入院して二年余初めて口で字を書いてみました。頭が持ちあげられないので、へなへなした線でしたが、スポーツで新記録を出したような喜びでした。」

「寝たきりの生活をしていると、からだを自由に動かした時の何倍も思いが巡ります。一番浮かんできたのは、ふるさとの自然。顔の横にある花に雄大な景色を見ていました。」

「元氣な頃、不自由な人を見れば、すぐに不幸と結びつけました。それは心のまじさだったので。」

水彩画の草花に自らの姿を映し、詩に思いをはなつ日々が続くのです。

神様がたった一度だけこの腕を動かしてくださいとしたり、母の肩をたたかせてもらおう

風に揺れるペンペン草の実を見ていたら、そんな日が

本当に来るような気がした。

体力・抵抗力をつける 冬の栄養ポイント

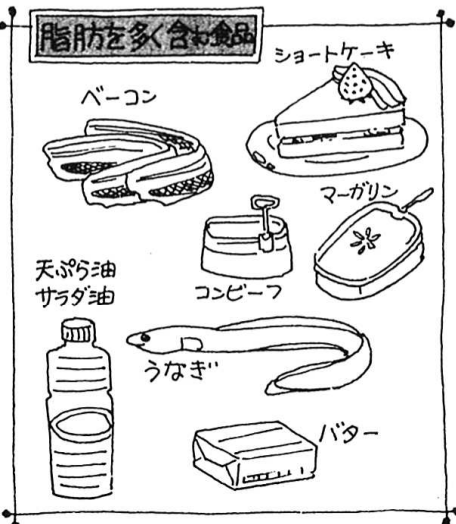


脂肪～ 寒さをしのぐ食物の主役

気温が低くなるほど多量のカロリーを消費するので、寒さがきびしいときには、高カロリーの脂肪はうってつけです。北極圏に住むエスキモーは1日に140g、日本人の約3倍の脂肪を食べて寒さに対抗しています。脂肪は腹もちもよく、それだけ寒さもこたえませ

せん。
脂肪を多くとると、コレステロール値を上げ、高血圧や動脈硬化にわるいのではないかと心配な方もいるでしょうが、健康的なとり方としては、動物性脂肪より植物性の油を多くとるようにします。植物性の油には、リノール酸など不飽和脂肪酸が多く含まれていて、血液中のコレステロールを下げる働きをしますので動脈硬化を予防するといわれています。

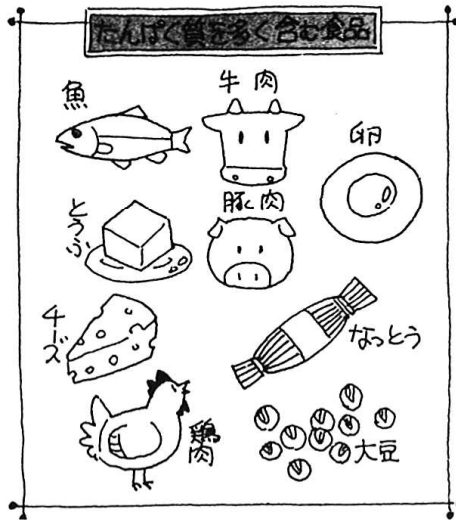
ただし、脂肪は高カロリー食品ですから、カロリー制限など行っている場合は、その点を十分に計算して食べるようにしたいものです。



たん白質～ 寒さの抵抗力をつける

たん白質は、からだを暖めるのに役立つ栄養素です。それはたん白質をとると体内での代謝が働いてからだを暖めるのです。

また、たん白質は、からだの抵抗力も強くしますから、寒さをのり切るためには、良質のたん白質食品を不足なくとるようにしましょう。



ビタミン～ 皮膚や鼻のどをつよくする

ビタミンにはいろいろ役割があります。その中でもビタミンAとCが低抵抗力をつけます。

ビタミンA これ不足すると呼吸器の粘膜から細菌やウイルスが体内に侵入しやすくなりますので、カゼをひきやすくなります。またAにかぎらずビタミン類は皮膚を丈夫にします。

ビタミンC 野菜や果物に含まれているビタミンCは、血管の抵抗力を強めて予防にも有益といわれています。また粘膜の強化にも役立ち、カゼを予防します。

作品展も六〇回を越え、本も出版し、闘病生活の一節は中学教科書にも取りあげられました。
先日、紀宮さまが、おし

のびで、学友に席を譲り、吊皮にぶらさがって国電に
乗られたのも、彼の詩画展
をご覧になるためだったと
いうことです。
彼の詩画は見る人々にそ
れぞれの感懐を与え、胸を
熱くしてくれるものを持っ
ています。

(星野富弘著「風の旅」)
◎3Cの時代
戦後三種の神器として、
冷蔵庫、洗濯機、掃除機に
始まり、カー、クーラー、
セントラルヒーティング…

と物を求める時代が続きま
した。これからは…：
①地域(コミュニティ)
②文化(カルチャー)
③創造(クリエーション)
の3Cを追究すべきだと考
えます。

地域の教育力を高め、日
本の伝統のよさを見直して
ゆたかな心を培い、そして
常に新しく物事を創り出す
努力を続けることが、村お
こしの現点となるべきだと
思います。



夫婦で力を合わせて

林間わさびづくり

原の永瀬源似さん夫妻

「ワサビ」というと、春に新芽をカス漬にした、いわゆるわさび漬を思い出します。清水の湧き出す沢に、フキの葉に似ていて、子どもころはフキとよく見分けがつかなくて、どこにでもできるものではないと思っていたものです。ところが、ワサビが畑や山林の中に植えられる、というのだからやはり世の中も変わってきました。

十二月なかば、OBSの正月番組で村長がノド自慢に出る録画どりの中の、特産品紹介でワサビを出す。といって準備をしているのを見ると、一〇〜一三cmの

根に青々とした葉っぱが勢いよく伸び、実に立派なワサビです。なんとこれが林間ワサビで原の永瀬源似さんが作った。ということですから。伊藤産業課長がこれはキロ八千円から一万円はする。と言っています。

—特産農業で潤おう村づくり—を農業政策のキャッチフレーズにしている本村です。林間ワサビがどう作られているか、さっそく、永瀬源似さんを取材しようと、ヒル休み電話で都合を伺う。



夫婦で力を合わせて……林間わさびづくり

「永瀬さんですか、立派なワサビを見せてもらいました。お聞きしたいんですけどいいんですが。」

「いいですよ」
の返事で中古の軽トラで永瀬さん宅へ、昔は歩いた旧道も軽トラで玄関前まで奥さんの陽子さんが出向えてくれる。天気の良い日で、縁に腰かけ二人から話をきかせてもらう。

「あれは何か、村長さんがテレビに持っていくというんで、いつばかりをえらんなんですわい。」

との話、もつともそうでしょうが、林間であれだけのものは、家にあった二本とキリブキ一束を写真にとらせてもらう、永瀬さんはキリブキを手にとって、

「これが良いときは一つ二百数十円かしたです。今ごろでも九十五円くらいにはなつちよる。」

とのこと、根っこだけでなく葉っぱもお金に

「ワサビを始めて六年目になります。畑のハウスが五畝半に、林間が二反で今年とれるのが一反です。十月から収穫してほとんど毎

日二〜三キロづつ農協を通じて市場に出しています。十月からこれまで七十一キロ出しました。市場に出せないものを加工用として農協へ二十七キロ出しました。」とすると一反から市場

に出せるものが一〇〇キロくらいかな、と胸算用。

「そうですね。一〇〇キロにはなるでしょう。今は天気がいいのでよいが、寒くなつて凍るようになった時とれるか、冬場をどうする

立派な
わさび
(2年もの)



かが問題です。一度にたくさんだとやはり市場の値が下がるですね。昨日、北村さんが五キロに、ほかの人も出したので、今日は値が下がっていた。いつもきまつた量、出すのがいいようですね。今日は午前中四キロ出してきました。」

奥さんが、
「ひるから山に行き掘つてきて、毎晩そろえるんです。そして翌朝農協にもつていきます。人が毎晩やらにやらならなら、きつからう。と言うけどやらにやららんと思っています、苦にならんです。」

と話す。二人で一生懸命に手入れして、立派なワサビを作っているのですね。ひととおり話を聞いてワサビ畑に案内してもらう。

永瀬さんの二ダトラックのあとを軽でついでいく。舗装がすぐ終り林道へ、石道から私道へ入っていく。これを八〇〇メートルほど下つて現地へ。道の手入れも大変だろうと思う。

畑は西北向のゆるやかな斜面の杉林の中、立派なワ

サビ畑だ。約二反ほどだが、どこかで見た感じだな。そうだ産業課が持っていた写真だ。引伸して視察団へ説明用に使っているあれだった。永瀬さんにたずねると、「ああ、あれですね。ここで下さい。」

「この場所は四度目のことです。最初は家の近くで試験的に少しづつやっていたが、成績がよくなかった。湿気のあるところはダメです。やはり北向のところですね。水ハケのいいところがよいようです。ここは西北向で渡神のみえる方向がいいといいますが、あすここに渡神が見えるでしょう。」

ほんと、右手に近々と渡神岳が見えます。「それにここはもと竹山で、この杉が三十二年生で新植です。竹の根が深く土の中でくさって、腐葉土のようになっているんじゃないですかね。それがいいつかもしれんですね。」

土がふかふかとやわらかくてまっ黒で、小石もなくそこらの畑はとも勝てそうにない。「ここに作って見たつも

この道すじで作っている時夫さんたちのワサビの方が成績がよかったです。それで少し遠いがここに作って見たら、やっと四回目でよい土地にゆきあった気がする。この隣りも来年広げようと思って、森林組合に間伐をたのんだです。おとどしか台湾に視察にいったのがよかったです。あれが大そう勉強になったですね。台湾のは大きくうねをあげてあるです。水気のないようにしてあるとですね。あんな視察をこれからもやるといいですね。奥さんもワサビの手入れが楽しい様子だ。二人で作業をしているところを写真にとらせてもらおう。いざ写真にうつるとなるとテレるもので、奥さん、

「エツ村報にのすると、おかし——い。」

いろいろ話を聞かせてもらいながら、二人でワサビに合った土地をさがし、何回も場所をかえ、日向や湿気のないところなど、夜も出荷の作業をするなど努力をつみ重ねて、良いワサビ

を作り出しているのだなと心中感激をおぼえる。畑の作業を続ける永瀬さん夫妻にお礼をのべ、土産に写真のワサビをいただきたい。この夜はワサビを使う料理はなし。あくる夜久し振りにホンモノのワサビでサシミ。やっぱりホントのワサビの味はいい。舌ざわりも格別だった。伊藤課長へ林間ワサビで成績のよいところは反当どれくらいになっているかたずねてみる。これまでの話から、反七、八十万円かなと思っていたが、伊藤課長「いや私は花やキリブキを入れると反百二十万円で入る。思い込みではないか、と思っている。収穫まで二年から二年半かかるが」と、すると反当六十万くらいか、五反くらい立派なワサビを作ったと聞くと充分経営が出来るのではないだろうか。みなさん、ワサビ作りに挑戦し、収入の柱づくりをしてみませんか。



転作にご協力を!!

62年度転作面積25ha

中津江村の耕地面積は一七七haで、そのうち水田は八四haです。残り四三haは畑などです。農業所得の大部分は米の栽培で占めている方も多いのではないかと思います。

最近、貿易摩擦で、みかんなどの輸入の自由化をなどと外国からの圧力がかかり、ついに、日本農業の根幹である米の自由化もせまられている状況です。わが国の農政の中心は稲作であり、農家はそれで守られていたということもいえます。

しかし、米が生産過剰になり、生産調整を余儀なくされてきました。年がたつにつれ、その調整も厳しくなり、今年の転作目標は二一haとなりました。何とこの面積は全水田面積が八四haです。二五%、四分の一の割合にもなりません。

転作は本村だけではなく全国の市町村もしなければならぬものです。幸い大分県は一村一品運動で実績をあげている県です。これを機会に狭い耕地を大いに利用して高収入の農業の確立をはかっていく好時期といえるのではないかと思います。現在は炭坑の閉山縮小や小企業だけではなく大企業も生産を縮小しなければならぬ不況です。その中でも、農業生産物は生きていくには絶対必要なものです。

この時期にあたり、本村の農業のあり方を考え狭い耕地で、しかも少ない労働力で高収入農業を目指したいものです。転作にご協力ください。心から願います。

参加しませんか

1月15日

第9回走ろう・歩こう会

第9回新春走ろう歩こう会が次のとおり開催されます。

この大会は、早い者が勝ちというものではなく、遅くても優勝するチャンスがあるタイム宣言レースです。

新春のひとときをマイペースで参加してみませんか。

★日時 1月15日(祝)10時スタート
(雨天等の場合は18日)

★集合場所 中津江村中央公民館

★受付時間 9時～9時40分

★コース ・3km…小学生以下の部
…中学生以上の部(含一般)
・5km…(制限なし)

★表彰 各コース6位まで表彰
ファミリー賞(1家族3人以上)
上参加し、そのうち1～2名が
20才以上)
※参加者全員に記念品贈呈!

1月26日

文化財防火デー

1月26日は文化財防火デーです。

日本の歴史と文化の軌跡を示す文化財を火災から守ることは、私たちひとりひとりの願いであり、責任でもあります。

わが国の文化財は木製、紙製の工芸品が多いため、常に火災による損失の危険にさらされています。

1年のうちで冬場と春先は火災のシーズン。ちょっとした不注意で火災は起こります。

日本の文化をしっかりと守り、後世に伝えたいものです。

タコあげは電線の
ない場所で
あげましょう

お知らせ

お知らせ

お知らせ

お知らせ

お知らせ

1月6日

消防団出初式

1月6日(火)9時30分より中津江村消防団出初式が津江中学校グラウンドで行なわれます。

当日は永年勤続者等の表彰、各分団の操法訓練、放水訓練などが行われます。

1月5日

・今年34名
成人式

成人式は1月5日(月)に役場大会議室で10時30分(受付は9時30分～10時30分)より行なわれます。

今年の対象者は昭和41年4月2日から昭和42年4月1日までに生まれた方です。

私たちの日常生活の基本法である民法では「満20歳をもって成年とする。」と規定しています。

つまり、この日から1人前の「おとな」として、選挙権の行使ができ、酒もタバコも晴れて解禁となりますが、それだけ責任も重くなります。

成人式は古くからありましたが、成人式は「おとな」になったことを自覚し、新しい時代を担うみなさん方の期待がこめられています。成人になった喜びをかみしめるとともに、成人の日の意義を考えてください。

新成人は次の方々です。

(敬称略)

石川淳一、石川誠一、梶原孝美、合谷克哉、合谷幸生、杉野幸則、高岡和宏、高野寅太、武原良平、永瀬武敏、永瀬幹雄、長谷部建治、松原文秋、宮野丈二、矢野能久、吉田啓吾

阿部留美、猪野日文、池辺真千子、石川初美、梶原由加、川津真奈美、川野由美、平清美、高原里美、中元園美、永瀬はるみ、永瀬美津、原部美記、松野ひろみ、松野昌子、水野良江、矢野末朱代、渡辺由美

歳時記

宝船

「なかきよのおのねぶりのみなめざめ、なみのりぶねのおとのよきかな」この歌は、上から読んでも、下から読んでも同じですね。こういうのを回文歌と言います。

江戸時代には、良い初夢を見るようにと、宝船の絵と、この歌を書いた紙を枕の下に置いて寝ました。

正月には宝船売りが、「お宝お宝」と言いながら絵を売り歩きました。明治時代になってもこの風習があったそうです。

宝船には、米俵や財宝が乗っているだけのものもありますが、多くは、七福神が乗っていました。

七福神とは恵比寿、大黒天、弁財天、毘沙門天、布袋、福祿寿、寿老人をいいます。面白いのは、この顔ぶれは、神さまと仏さまがまざっていることです。

最近では宝船の絵を枕の下に置く風習はすたれましたが、正月の七福神もうでは盛んで



す。この時もうでる所が、神社と寺と両方まざっています。しかも、たとえば大黒天が神社に祭られていたり、寺にありたりするのです。町人の信仰のおおらかさなのでしょう。それと、七福神のふるさとインド、中国、日本とまちまちです。国際化のさきがけみたいなものでですね。

ところで、一九八七年は国際連合で決議された「国際居住年」です。西暦二〇〇〇年にむけて、世界各国の居住環境の改善をすすめていこうというのが狙いです。日本は、開発途上国の居住問題の解決に協力すると同時に、日本の居住環境の向上にも力を入れなければなりません。

募集！62年度中津江村奨学生

昭和六十二年度の中津江村奨学生を次の要綱のとおり募集します。

ご希望の方は一月三十一日までに書類をそろえ、教育委員会まで提出してください。

▼応募資格

- ① 村内に一年以上居住している者の子弟。
- ② 学業、人物ともにすぐれかつ健康な者。
- ③ 経済的理由により、学資の支払が困難な者。
- ④ 高校、高専に進学、または在学する者。ただし日田市内の県立高校に進学、在学する者は、高校寄宿舎に入寮する（している）者。

▼奨学金の額

貸付金額：月一万円（年間十一万円、八月を除く）

▼貸付期間

昭和六十二年四月から進学、在学する学校の修学期間の終了まで無利子で貸付。ただし、学業成績等が著しく低下した場合、または所得が著しく増加した場合は打ち切ることがある。

▼返済期間

卒業または退学した年から七年以内。

応募手続き等について詳しく知りたい方は教育委員会までお問い合わせください。

気をつけましょう！電話の訪問販売

訪問販売や通信販売はいろいろとあります。上手に利用できればよいのですが、悪徳な販売には気をつけたいものです。

最近、「現在使用中の黒電話は近々使用できなくなります。」などと説明して

訪問販売する事件が起きています。このような悪質な訪問販売には気をつけてください。今の電話器はこわれるまで使えます。もし契約してもクーリング・オフの期間内であれば解約はできます。ご注意ください。

雑記帳

あけましておめでとう
ございます。

正月は、天気がよくなくても何か気分が一新するものです。壁には真新しいカレンダーもあり、すがすがしいものです。

一年の計は元旦にあり：……といわれます。初詣に「今年はお〇〇をすぞ。がんばるぞ」と誓って、もなかなか実行はむずかしいものです。その代表が、日記帳。正月三日は「はいに記しても、その後はなかなか。今年こそはと思っても、毎年日記帳は数ページ埋まっていることが多いものです。たとえ三日坊主でも、何もしないよりいいのうち、きつと続くだろうと一人でなぐさめて。

何はともあれお正月。新しい明日へむかって一生懸命がんばろうと思えます。今年もよろしくお願います。